

1 来場者数等

(1) プログラム別、会場別

- ・最終的な来場者数は、当初想定した 50 万人を超え 626,842 人となった。
- ・プログラム別では、国際美術展の来場者（479,847 人）が最も多く、全体の 76.5%を占めている。
- ・国際美術展の来場者数を会場別で比較すると、メイン会場である愛知芸術文化センターが 143,913 人で最も多くなっている。なお、今回から新たに展開した岡崎地区の来場者数は 81,399 人となり、来場者全体の 13.0%に達した。

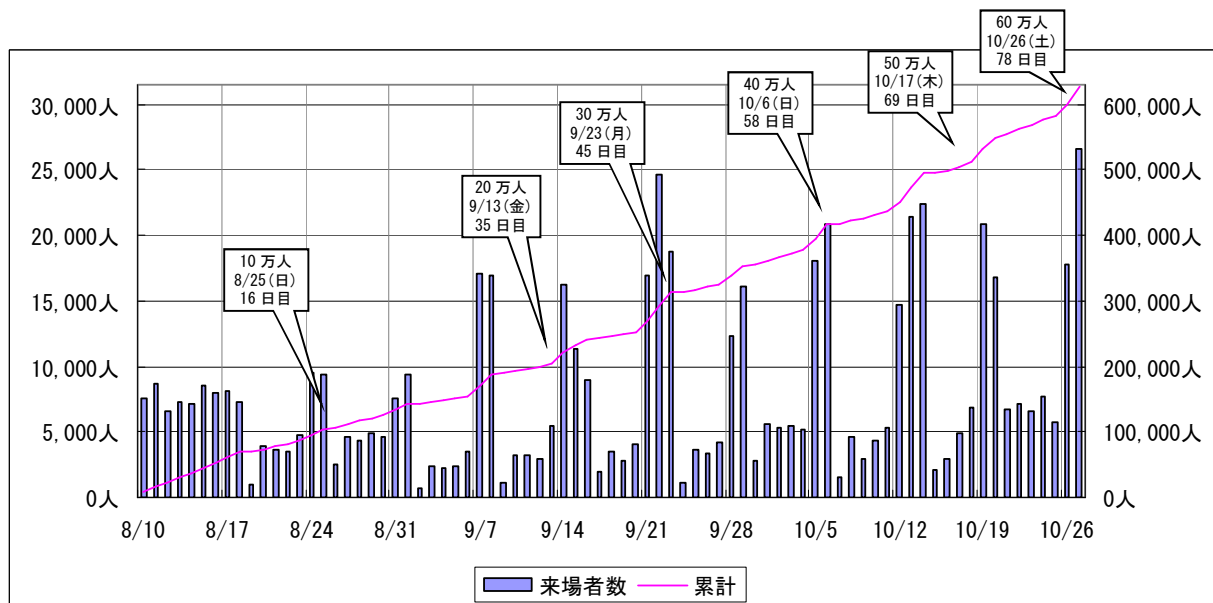
プログラム	来場者数	割合	内訳
国際美術展	479,847 人	76.5%	愛知芸術文化センター 143,913 人 (30.0%)
			名古屋市美術館 74,739 人 (15.6%)
			長者町会場 84,838 人 (17.7%)
			納屋橋会場 43,962 人 (9.2%)
			その他会場 60,614 人 (12.6%)
			名古屋地区計 408,066 人 (85.0%)
			東岡崎駅会場 18,611 人 (3.9%)
			康生会場 30,596 人 (6.4%)
			松本町会場 22,574 人 (4.7%)
			岡崎地区計 71,781 人 (15.0%)
計 479,847 人 (100.0%)			
映像プログラム	3,163 人	0.5%	
パフォーミングアーツ	22,779 人	3.6%	
プロデュースオペラ	5,256 人	0.8%	
キッズトリエンナーレ	60,803 人	9.7%	
パブリック・プログラム	3,328 人	0.5%	
オープンアーキテクチャー	1,194 人	0.2%	
モバイル・トリエンナーレ	7,316 人	1.2%	豊橋市 2,232 人
			知多市 1,132 人
			春日井市 3,580 人
			東栄町 372 人
その他	30,955 人	4.9%	・ウィッシュ・ツリー 22,148 人
			・高橋匡太《Grow with City Project》 5,800 人
			・ヤノベケンジ《太陽の結婚式》(12回) 777 人
			・マーロン・グリフィス《太陽のうた》パレード 600 人
			・その他(トークイベント等) 1,630 人
共催事業	12,201 人	1.9%	・祝祭ウィーク 12,050 人
			・芸術大学連携プロジェクト 151 人
計	626,842 人	100.0%	

(上記のうち岡崎地区来場者数)

プログラム	来場者数	割合	内訳
国際美術展	71,781 人	88.2%	・東岡崎駅会場 18,611 人
			・康生会場 30,596 人
			・松本町会場 22,574 人
その他	9,618 人	11.8%	・ウィッシュ・ツリー 8,748 人
			・その他(イベント等) 870 人
計	81,399 人	100.0%	(来場者全体の 13.0%)

(2)開催日別

- ・一日あたりの平均来場者数は7,935人（平日4,241人、土日祝15,048人）で、会期末に向かって増加した（8月6,063人、9月7,435人、10月10,016人）。
- ・会期中で来場者が最も多かったのは、最終日10月27日（日）の26,541人であり、高橋匡太《Glow with City Project》を開催した9月22日（日）の24,588人がそれに続いた。



(3)国際美術展の来場者内訳

- ・国際美術展（キッズトリエンナーレを含む）の来場者については、一般来場者が77.0%を占めているが、中学生以下の来場者も11.7%と高くなっている。

区分	一般	大学生	高校生	中学生以下	招待者	計
国際美術展	416,143人 (77.0%)	31,538人 (5.8%)	9,529人 (1.8%)	63,512人 (11.7%)	19,928人 (3.7%)	540,650人 (100.0%)

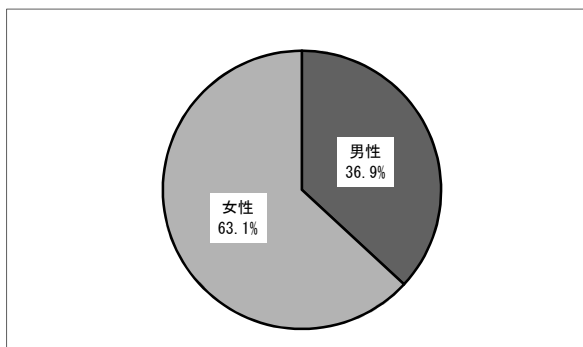
(4) 来場者の属性

- ・来場者アンケートによると、男女別では、女性が 63.1%、男性が 36.9%で女性の割合が高い。年代別では、10代から30代までの比較的若い世代が 65.2%を占めている。
- ・住まいについては、名古屋市内 29.5%、愛知県内（名古屋市以外）34.3%、愛知県外 34.8%、海外 1.3%となっている。
- ・来場者アンケートの回答の中では、愛知県外からの来場者については、北海道から沖縄県まで 41 都道府県から来場があった。海外からは、21 の国と地域から来場があった。

○性別

区分	比率
男性	36.9%
女性	63.1%
計	100.0%

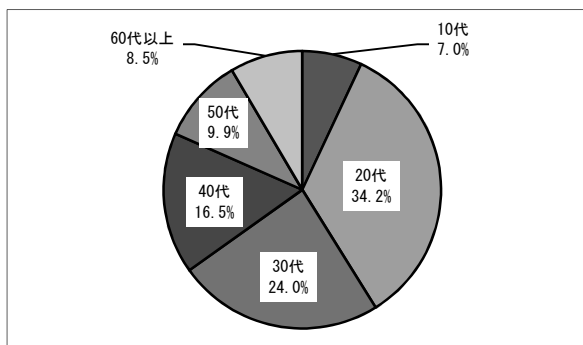
アンケート回答数 3,424



○年代別

区分	比率
10代	7.0%
20代	34.2%
30代	24.0%
40代	16.5%
50代	9.9%
60代以上	8.5%
計	100.0%

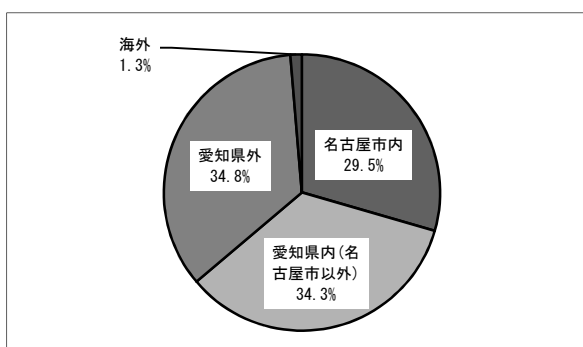
アンケート回答数 3,415



○お住まい

区分	比率
名古屋市内	29.5%
愛知県内（名古屋市以外）	34.3%
愛知県外	34.8%
海外	1.3%
計	100.0%

アンケート回答数 3,412



(愛知県外の内訳)

区分	比率
首都圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）	35.3%
京阪神（大阪府、京都府、兵庫県）	17.0%
東海（岐阜県、三重県、静岡県）	31.6%
その他	16.2%
計	100.0%

アンケート回答数 1,145

(海外からの来場者割合 1.3%の推計方法)

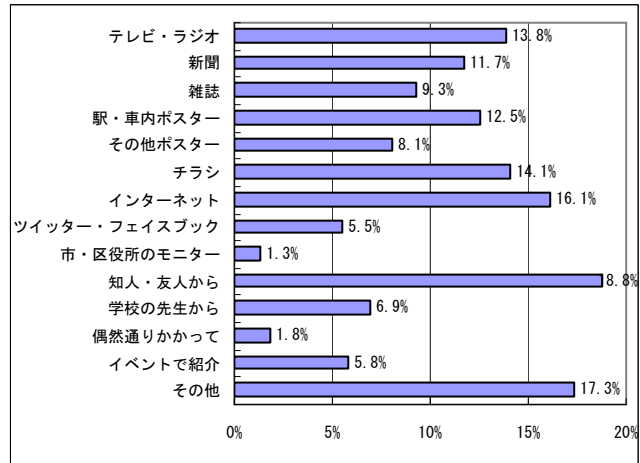
・来場者調査（対象数 6,673 人）を行ったところ、21 の国と地域から 89 人の来場があったことから、1.3%と推計した。

(5) 来場理由

- ・トリエンナーレを何で知ったか聞いたところ、「知人・友人から」18.8%、「その他」17.3%、「インターネット」16.1%の順となっている。「その他」は「前回2010から知っている」という内容が多かった。
- ・その中で、来場しようと思った効果的なものを聞いたところ、「その他」16.9%、「知人・友人から」15.9%、「インターネット」11.5%の順となっている。「その他」は「前回2010が面白かったから」という内容が多かった。

○あいちトリエンナーレ2013を何で知りましたか（複数回答可）

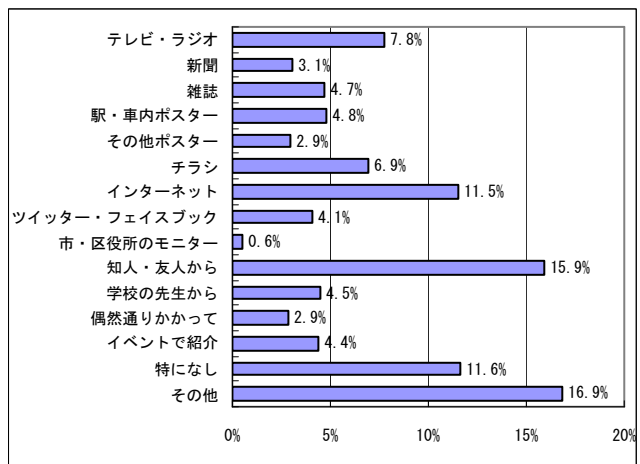
選択肢	数	比率
テレビ・ラジオ	474	13.8%
新聞	401	11.7%
雑誌	320	9.3%
駅・車内ポスター	430	12.5%
その他ポスター	277	8.1%
チラシ	482	14.1%
インターネット	553	16.1%
ツイッター・フェイスブック	188	5.5%
市・区役所のモニター	44	1.3%
知人・友人から	644	18.8%
学校の先生から	237	6.9%
偶然通りかかって	62	1.8%
イベントで紹介	198	5.8%
その他	594	17.3%
計	4,904	—



アンケート回答数 3,428

○「あなたが本日来場しよう」と思った効果的なものはどれでしたか（最大2つまで）

選択肢	数	比率
テレビ・ラジオ	267	7.8%
新聞	105	3.1%
雑誌	160	4.7%
駅・車内ポスター	163	4.8%
その他ポスター	100	2.9%
チラシ	238	6.9%
インターネット	394	11.5%
ツイッター・フェイスブック	139	4.1%
市・区役所のモニター	19	0.6%
知人・友人から	544	15.9%
学校の先生から	153	4.5%
偶然通りかかって	99	2.9%
イベントで紹介	151	4.4%
特になし	399	11.6%
その他	578	16.9%
計	3,509	—



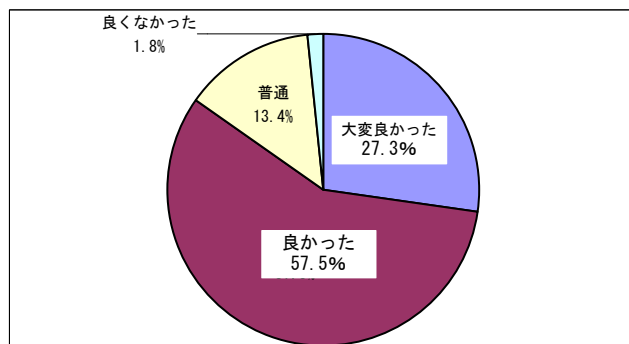
アンケート回答数 3,428

2 来場者の反応

- ・トリエンナーレ全体の感想については、「大変良かった」と「良かった」を合わせると84.8%であり、一般的に好評であった。
- ・芸術・文化に対する興味・関心が高まったか、という質問については、「大変高まった」「高まった」が80.0%となっており、普及・教育効果は高かったと考えられる。
- ・トリエンナーレにはどんな効果があると思うか聞いたところ、「文化芸術の振興」が最も高くなっているが(57.0%)、「愛知・名古屋・岡崎のPR」(38.2%)や「都心や地域の活性化」(31.6%)も高くなっており、地域づくりへの効果も期待されていることが窺われる。
- ・次回3年後のトリエンナーレに行きたいかどうかという質問については、84.1%が「絶対行く」「たぶん行く」と回答した。

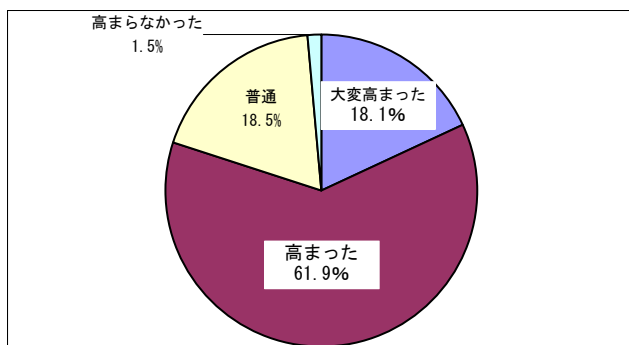
○あいちトリエンナーレ2013について、全体的な感想をお聞かせください

選択肢	数	比率
大変良かった	928	27.3%
良かった	1,959	57.5%
普通	457	13.4%
良くなかった	60	1.8%
計	3,404	100.0%



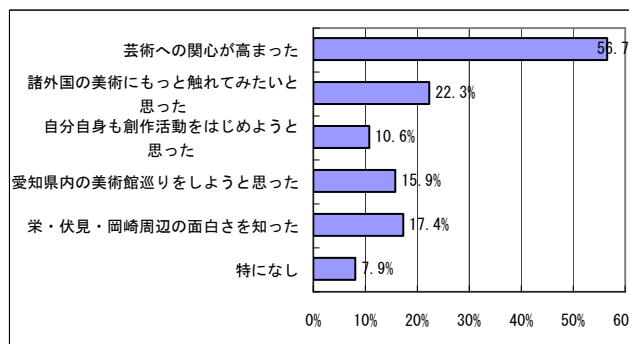
○あいちトリエンナーレ2013に来て、芸術・文化に対する興味・関心は高まりましたか

選択肢	数	比率
大変高まった	619	18.1%
高まった	2,118	61.9%
普通	634	18.5%
高まらなかった	51	1.5%
計	3,422	100.0%



○あなた自身にとって、あいちトリエンナーレは、どんな効果があったと思いますか（複数回答可）

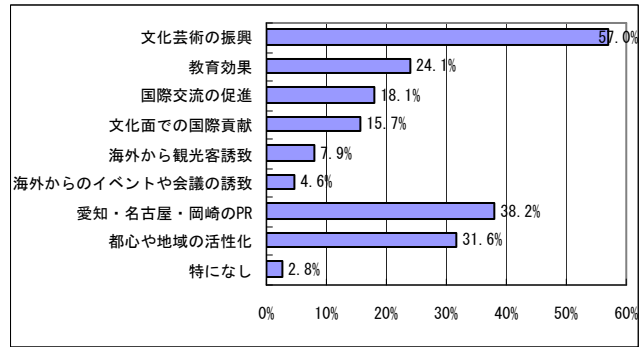
選択肢	数	比率
芸術への関心が高まった	1,943	56.7%
諸外国の美術にもっと触れてみたいと思った	766	22.3%
自分自身も創作活動をはじめようと思った	364	10.6%
愛知県内の美術館巡りをしようと思った	545	15.9%
栄・伏見・岡崎周辺の面白さを知った	595	17.4%
特になし	272	7.9%
計	4,485	—



アンケート回答数 3,428

○あいちトリエンナーレには、どんな効果があると思いますか（複数回答可）

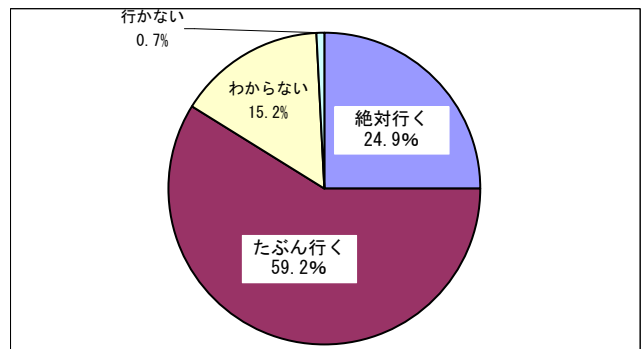
選択肢	数	比率
文化芸術の振興	1,953	57.0%
教育効果	826	24.1%
国際交流の推進	620	18.1%
文化面での国際貢献	539	15.7%
海外からの観光客の誘致	271	7.9%
海外からのイベントや会議の誘致	159	4.6%
愛知・名古屋・岡崎のPR	1,308	38.2%
都心や地域の活性化	1,083	31.6%
特になし	96	2.8%
計	6,855	—



アンケート回答数 3,428

○次回3年後のトリエンナーレに行きたいと思いますか

選択肢	数	比率
絶対行く	851	24.9%
たぶん行く	2,025	59.2%
わからない	522	15.2%
行かない	25	0.7%
計	3,423	100.0%



○自由意見抜粋

《テーマに関するもの》

- ・非常に明解なテーマがあったことが印象に残りました。
- ・重い内容が心に響いた。
- ・次回も明確なテーマでかつ幅広いジャンルの作品が展開されるとよいと思います。今回のテーマでアートと社会のつながりを意識している点は非常に興味深いです。
- ・震災を思い出させてくれた。社会的問題をアートの場に持ってきたことに時代がかわったんだと思った。歴史館にあるようなものがアートの場にあることに驚いた。
- ・震災から2年経ち、被災者の方たちにとってこの2年間は早くはなかったと思うが私達には改めて思い返す事や色々考えるきっかけになる。現代アートには今回の震災のことや社会的な事などを訴える力があるという事をもっと知って貰いたい。
- ・今回震災のことを取り上げていたので、風化させないためにとてもいいと思った。
- ・テーマがよい。あえて愛知で震災をテーマにしているところが良かった。作品も震災をテーマにしながらも違う切り口で人に訴えているところがよい。
- ・震災がテーマなのが嫌だった。色んな国の人の作品もあり片寄って無くてよかった。
- ・テーマが今回重かったですが、世相や時事問題になると多様性が狭くなるので、広いテーマの方がよい。今回、建築の監督だったので建築に関心を持たた。
- ・テーマをもう少し明るいもの、みんなの関心が高まるものが見たい。
- ・今回の展示がシビアだったので親子で楽しめるものが見たい。
- ・明るい希望が持てる作品を増やして欲しい。
- ・今回のテーマが社会的主題になっていますが、大事なことです。気持ちが前向きな作品がいいです。

- ・震災にテーマが寄りすぎていた。ヘビーでした。次回はテーマがかわいいものからヘビーなものまでバラエティーに富んでいるものがよい。

《美術展全体に関するもの》

- ・現代アートにはあまり縁がないので触れるきっかけになった。
- ・美術に今まで関心がなく、現代美術の存在意義が分からなかったが、今回トリエンナーレを見に来て、その面白さが作品から伝わってきました。
- ・来場者に若い人が多いが、全ての年齢層が魅力を感じるものにして欲しい。現代美術を中高年も興味を持って育てていくくらいになって欲しい。
- ・もっとわくわくする作品、楽しかったといえるような体感的で美術館とは違うものがあるといい。
- ・ずっと継続して欲しい。継続することでもっと広まってその時その時の問題点を解決して欲しい。
- ・2010年の開催のときから盛り上がっていて、町の人やボランティアの交流が引き続いて2013年の開催に至っているところが素晴らしい。2016年もこの感じを引き次いで欲しい。

《子どもに関するもの》

- ・子どもに分かりやすく興味が持てるプログラムがありすばらしい。キッズトリエンナーレはすごく楽しい。美術に興味が出た。
- ・子どもが触れるきっかけになる。親子で参加できていい。自分にとっても現代美術は新鮮でいい。
- ・子どもが無料なのはありがたい。教育的にとってもよいと思う。
- ・子どもが参加できる面白いものをもっとあるといい。

《地域展開に関するもの》

- ・岡崎会場の町をあげての盛り上がりはよかった。
- ・岡崎会場ができてよかった。三河の人なので来やすかった。
- ・愛知に住んでいるのに、岡崎に行ったのは初めてだった。トリエンナーレを通じて、会場だけではなくその街の良さを感じられるのが良い。
- ・愛知全体で会場を使っていて愛知のPRをしていることはとても良いと思う。
- ・もっと岡崎だけでなく、他の市町村も会場にして欲しい。
- ・街の中に色々作品があり、まちづくりとして盛んになっていていいなと思った。
- ・会場が散らばりすぎ。岡崎は負担。遠すぎる。

《広報・PRに関するもの》

- ・トリエンナーレを知らない人が多いのもっと宣伝するべき。
- ・サイト、チラシ、パンフレット等が分かりにくい。デザイン重視で見にくい。

《運営に関するもの》

- ・ボランティアスタッフに助けてもらった。いつもいてくれると助かる。
- ・芸術文化センターのボランティアガイドツアーがとても良かった。これからも市民参加の企画を充実させて欲しい。
- ・もう少し涼しい時期に開催を希望します。
- ・キャプションが小さくて見にくい。作品の説明が小さすぎる。
- ・長者町の展示で階段がキツくて、年寄りやからだの不自由な人には厳しい。次回は考えてほしい。
- ・ペロタクシーが無料なのがよい。ペロタクシーのスタッフは皆親切で楽しい。
- ・ペロタクシーの便を増やすか、無料のシャトルバスなどがあればもう少し行きやすい。
- ・会場間の移動手段を増やして欲しい。
- ・遠方から来ると、会場が点々として回りにくい。ペロタクシーも台数や速度が不便です。

3 普及・教育

- ・あいちトリエンナーレの特色であるキッズトリエンナーレでは、いつでも誰でも自由に創作活動ができるスタジオを設けたほか、週末や夏休み期間中には、子どもや親子を対象としたワークショップを実施した。子どもだけでなく大人の参加も含め 60,803 人の来場があり、参加した子どもたち（小中学生）の 91.4%が「楽しかった」と回答している。また、学校向け団体鑑賞プログラム※にも 130 校、5,089 人の参加があった。

※学校向け団体鑑賞プログラム：授業、校外学習など様々な学校行事を活用して、児童・生徒に世界最先端の現代美術に触れてもらうためのプログラム

○キッズトリエンナーレ来場者数

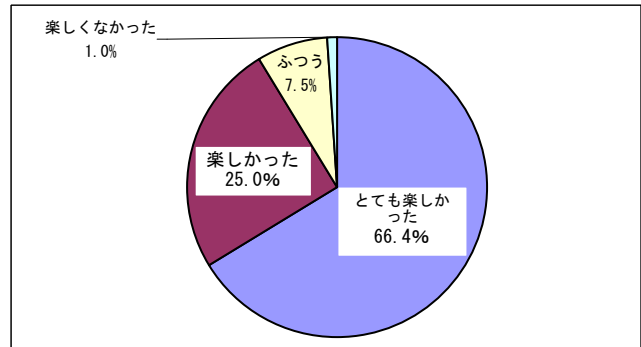
区分	来場者数
中学生以下	16,782 人
その他	44,021 人
計	60,803 人

○学校向け団体鑑賞プログラム参加者数

区分	校数	児童・生徒数
小学校	18 校	1,211 人
中学校	55 校	1,697 人
高等学校	40 校	1,569 人
特別支援学校	10 校	89 人
専門学校等	7 校	523 人
計	130 校	5,089 人

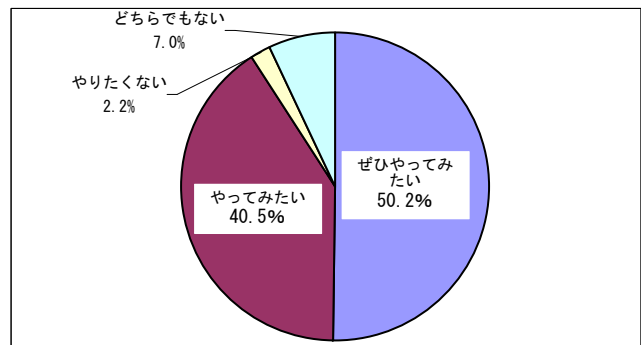
○今日は楽しかったですか？

選択肢	数	比率
とても楽しかった	699	66.4%
楽しかった	263	25.0%
ふつう	79	7.5%
楽しくなかった	11	1.0%
計	1,052	100.0%



○今日体験したことをこれからもやってみたいですか？

選択肢	数	比率
ぜひやってみたい	521	50.2%
やってみたい	420	40.5%
やりたくない	23	2.2%
どちらでもない	73	7.0%
計	1,037	100.0%



○自由意見抜粋

《いつでもプログラム「きおくのへや」》
 ○新聞紙を色々なものに貼っていて、すごくびっくりしたし、面白かったです。色々な子の思いが込められていていいなと思いました。
 ○家ではできない物に落書きできるのはすごく楽しかったです。

○キッズトリエンナーレは、とても賑やかで、きおくのへやはいろいろな色を混ぜて描いたりしたのでメチャクチャ楽しかったです！

《ワークショップ》

○学校でやっている音楽と全然違ってびっくりしました。とても自由で面白かったです。（「親子オーケストラ」ワークショップ）

○壊すことも制作の一部になるということが分かって、勉強になりました。貴重な体験が出来て良かったです。（『壊すこと』もアートなこと）

○自分の知らない人といっしょにワークショップをやるのは難しいと思っていました。でも、いざやってみるととても楽しかったです。（音楽劇ワークショップ—音楽を使ってストーリーを作ろう！）

○他の子が作ったひもをくっつけていって、自分の作品をつくるのが楽しかったです。他の子の作品を見て、なるほど、と思いました。（せんのとりで）

○ダンボールでいろいろなものを作れることを知ってびっくりした。部屋を作るときは秘密基地みたいで楽しかった。（ダンボールでサバイバル！）

《その他》

○アート作品や芸術作品を見て図工が好きになってきた。

○もっとコーナーを増やしてほしい。

○今日は今まで行った美術館の中で一番楽しかったです。またこういう機会があれば、行きたいです。

○友達も誘って、また来てみたい！！

数字の表示単位未満は、四捨五入を原則としました。したがって、合計の数字と内訳が一致しない場合があります。